

これからの社会で必要とされる資質・能力とは何か

—今、身に付けておきたいものを考える—

経済同友会 会員
林 明 夫

Q1：本日の授業の目的は何ですか。

A：3つあります。

- (1) これからの社会とは何かを知ること
- (2) そこで必要とされる資質・能力を知ること
- (3) 今、身に付けておきたいもの考えるきっかけをつかむこと

Q2：好きなことばはありますか。自己紹介を兼ねて教えてください。

A：たくさんあります。時代に分けてお話しします。

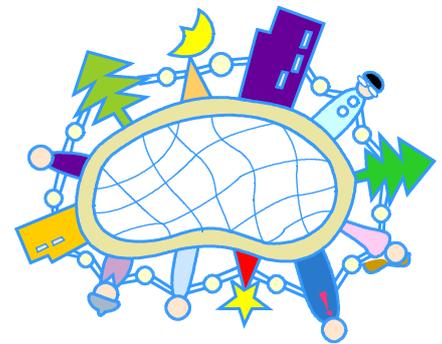
- (1) 栃木県足利市立山辺中学校時代
 - ① 「練習で泣いて、試合で笑え」柔道部部长、椎名弘先生
 - ② 「ブルドッグ魂(食いついたら離すな)」クラス担任、岡田忠治先生
- (2) 栃木県立足利高校時代
 - ① 「一所懸命(一つの所で命を懸けるくらいがんばれ)」マラソン大会の合い言葉
- (3) 慶應義塾大学法学部法律学科時代
 - ① 「法律を学ぶ人はいつも最悪のことを考えて行動せよ」峯村光郎先生
 - ② 「注意一秒、ケガ一生」宮沢浩一先生
- (4) 大学を卒業したあと
 - ① 「会った人は皆、友だち」石川洋先生
 - ② 「目には遠いが心は近い」インドのことわざ
 - ③ 「一生勉強、一生青春」相田みつを先生

* 皆さんには好きなことばがありますか。あったら教えてください。

Q 3 : 林さんは、どのような仕事や活動をしているのですか。

A : いろいろあります。

- (1) 株式会社開倫塾 塾長(本社足利市、栃木県・群馬県・茨城県)
- (2) 学校法人有朋学園 有朋高等学院 理事長(福島市)
- (3) 宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授(宇都宮市)
- (4) マニー株式会社(手術用縫合針製造)顧問、元社外取締役(本社宇都宮市、海外はハノイ、ヤンゴン、ビエンチャンに拠点)
- (5) 社会福祉法人両崖福祉会 特別養護老人ホーム清明苑 理事(足利市)
- (6) 毎週1回、CRT 栃木放送で「開倫塾の時間」担当(27年目)



Q 4 : これからの社会とは何ですか。どのような社会ですか。

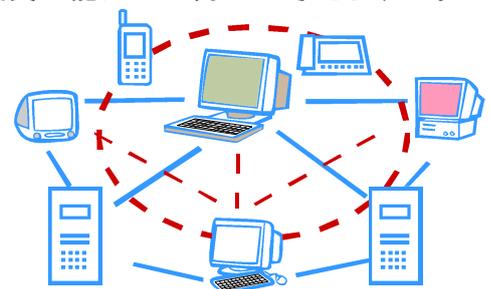
- A : (1) 知識が基盤となった社会 … 「知識基盤社会」
- (2) グローバル化された社会 … 「グローバル化社会」
- (3) 課題が山のように積まれた社会 … 「課題山積社会」

* 今の社会には、どのような克服すべき課題、乗り越えるべき課題があると考えますか。一緒に考えましょう。

Q 5 : 林さんは、これからの(1)~(3)の社会で必要とされる資質・能力とは何だと考えますか。

A : 次の3つの能力だと考えます。

- (1) 「知識・情報・技術を組み合わせて用いる能力」
- (2) 「多様な集団で交流する能力」
- (3) 「自律的に活動する能力」



Q6：これらの資質・能力を身に付けるにはどうしたらよいと考えますか。今、身に付けておきたいものとは何ですか。

A：これも3つあります。

(1)「学習の仕方」を身に付けること

①「授業の受け方」を身に付けること(ノートの取り方、用い方)

②「辞書の用い方」を身に付けること(ことばの数を増やす)

③「予習の仕方」を身に付けること

—わからないことをはっきりさせてから授業に臨むのが、予習の目的—

④一度うんなるほどと「理解」したことを「定着」させる(身に付ける)方法を身に付けること

(ア)「音読練習」

(イ)「書き取り練習」

(ウ)「計算・問題練習」

} 「定着のための三大練習」を

—「練習は不可能を可能にする」(小泉信三先生)—

—御参考—

スポーツにより得られる「3つの宝」とは①「練習は不可能を可能にする」

②「フェアプレー」の精神ルールを守る。卑しいプレーはしない。

③「よき友」

—慶應義塾・塾長小泉信三先生のことば—

⑤「テストの受け方」を身に付けること

—スミからスミまで覚える、身に付ける—

(2)「読書により思慮深さ」を身に付けること

①「書き抜き読書ノート」をつくること

②「図書館の用い方」を身に付けること

③全科目の教科書で紹介されている著者の本はできるだけ多く読むこと

(3)「新聞を読み自分で考える力」を身に付けること

①「スクラップブック」をつくること

②新聞は一面から毎日読むこと

Q 7 : 学校の勉強は世の中に出て役に立つのですか。

A : (1)役に立ちます。学校の勉強で役に立たないことは何一つありません。

(2)すべての教科の学習は、高校や大学などの上級学校に進学したあとも、また、社会に出たあともすべて役に立ちます。よく生きるために、一生役に立ちます。

(3)教科以外の学校での行事や活動も、高校や大学などの上級学校に進学したあとも、また、社会に出たあともすべて役に立ちます。よく生きるために、一生役に立ちます。

Q 8 : 随分いろいろなことをお話になりましたね。最後に一言どうぞ。

A : (1)学校での勉強は、よく生きるために生涯にわたってすべて役に立ちますので、学校の教科書や辞書、ノート等は決して捨てないで、先生の授業を思い出しながら繰り返し読み直してくださいね。すべての基礎は小学校、中学校、高校の勉強です。

(2)もしよかったら、今日のこのプリントも家に帰ってからゆっくりと読み直してみてください。また、年に何回か、また、何年かに一回でも読み直してくださいね。いくつかはお役に立つことがあるかもしれませんよ。

(3)これからは、「自己責任(自分の責任は自分で取る)」、「自助努力」、「自分の未来は自分の力で切り開く」、「あきらめたらおしまい」という考えも少しずつ身に付けてください。

*そのためには、いつも友だちと群れない、「一人でいることに強くなる」ことも大切です。

(4)ただし、「健康第一」一心の健康、身体を大切に。

(5)「自分のよさを自分の力で伸ばす」。そのために家族、友だち、学校、地域の方々、江戸川区、東京、日本、アジアなどのよさを探し、認めることにも挑戦しましょう。

(6)最後に、2020年に東京オリンピック・パラリンピックが東京都の江東区を中心に開催されます。2020年には、この東京、江戸川区は世界から最も注目される都市となります。2020年までにどのようなことがしたいのか、また、東京オリンピック・パラリンピックにどのような形で参加したいのかを自分の力でお考えくださいね。

(7)If you can dream, you can do it!

—もしあなたが夢をみることができれば、あなたはそれをする事ができる—

以上

*御清聴を感謝します。御質問・御意見があれば、御自由に御発言ください。

— 2013年10月5日シンガポールにて記す—